

こんにちは。

あなたやあなたのお客様の商品やサービスが
もっともっと世の中に知られて、
売れていくために大切なもの

「あなたのために『名入れ』を追求する」
マツウラです。

日頃のマツウラの様子がわかる記事を
中心にお伝えしていきます。

* * * * *

◆それでは「となりのマツウラさん」の各記事をお楽しみください。

目次

【1】 * * * マツウラの出張経理課長の取組みについて * * *

【2】 * * * 今週のマツウラ SNS 新着 * * *

【1】 * * * マツウラの出張経理課長の取組みについて * * *

「会計がわからなければ真の経営者にはなれない」
これは京セラの創業者である稲盛和夫氏が言った言葉です。
それだけ会計（経理）には力があり、数字で現状を把握することで
未来の経営を予測する羅針盤にもなりうるのです。
さらに経理を効率化することでコストの削減はもちろん、
他の業務が円滑に回り、無駄な出費をあぶり出すことも可能になります。
マツウラでも経理の重要性を考え、専務（社長の母）が
兼任でおこなっていた総務経理業務を、
「正確さ」や「効率化」などのアップグレードと「業務の見える化」を
進めていけるよう、「エースラボ」の布川さんにご指導を仰ぎ、
2021 年から総務経理部門の改善化を進めています。
今回はそんな布川さんにインタビューを行いました

【はじめに】

マツウラさんにはエースラボの新しいメニュー「出張経理課長」を
一番最初に導入頂きました。

2021年の9月末でしたので、ちょうど3年前になりますね。
具体的なメニューは作成したものの、実践としては、
具体的にどの様に進めていったら良いかも試行錯誤の状態でした。
一番の思いは先ずは協力的な対応をしてくださるか？
心臓がバクバクしていたことを昨日のように覚えています。
そんな心配に社長・専務も真摯に向き合ってくださいました。
ありがたかったです。

【どのように進めていきました？】

まずは月次試算表の作成までの手順を確認していき、
無駄などが潜んでいないかの確認作業から進めていったことを
今でも鮮明に覚えています。
ポイントとしては、
どの部分を改善すれば流れが良くなっていくのかに注力して
改善点をお伝えしてきました。

ほとんどの中小企業の抱える問題として、
経理担当者が「総務・人事・給与計算・経理」
全ての対応をしなければならないといった状況があります。
その結果、経理業務が後回しになることがけっこう多かったです。
ですので月次試算表の完成もかなり遅れ遅れになっており、
酷い場合は翌月末以降なんて状況になっていたりします。

あっ、マツウラさんはそんなに月次試算表の完成は
遅くはありませんでしたけど（笑）。
今後の理想としては翌月15日には
精度90%程度の試算表の作成ができている状態にしたいですね。
マツウラさんは、あともう少しというところまで来ています。
やはり先行きを見越した経営となると、現実の状況把握が非常に大切であり、
月次試算表の早期作成は非常に有効です。

【手ごたえは感じてますか？】

そうですね、
社長、専務ともに課題を提示すると非常に前向きに取り組んで下さっているので
まだまだ良くなっていくと思います。
何をどう取り組んでいったら良いかが明確になりつつあります。

実は、以前勤務していた会社で倒産の処理を経験してまして、
当たり前ですがとても大変でした。

そんなマイナスの経験が、マツウラさん始め訪問先さんのプラスに
なっているなんてホントに面白いなど、出張経理課長の仕事にやりがいを感じています。

【最後に】

マツウラさんに訪問するようになり、
自分自身も大変勉強になっており感謝しております。
今後もしっかりと寄り添ってマツウラさんの発展を支えていきたいと思えます。

経理の事という事で発言に気を使っただきながらのインタビューでした（笑）
外部からプロフェッショナルに入っただきことで、
これまでの流れを整備していただき、
マツウラの基盤をしっかりつくっていただけるようになりました。

●コンサルタントご紹介

エースユナイテッド株式会社

<https://www.ace-labo.net/>

企画室 副室長 布川 昭文 さん

中央大学経済学部卒業後、東証一部上場企業の建設会社に入社。

支店経理、本社人事部で勤務。

その後、会計事務所、シンクタンクにて

スタッフ系業務全般及び調査・研究業務に携わる。

シンクタンク時代には流通業の経理担当者向けのセミナー講師を定期的に務めた。

2021年 エースラボの理念「中小企業のパワーアシスト」に共感し参画。

いままで様々な企業の業務改善に携わる。

【2】***今週のマツウラ SNS 新着***

Google ビジネス プロフィールの最新投稿をご紹介します。

江戸時代で最も元気のいいおじいちゃんといえば
水戸黄門が思い浮かぶのではないのでしょうか？

12月6日はそんな水戸黄門こと「徳川光圀」が亡くなった日です。
徳川家康の孫として水戸藩に生まれ
5歳で水戸藩の後継ぎとなります。
32歳から62歳まで水戸藩の藩主を務めあげ、
その後、皆さんがご存じのように「水戸の御隠居」として諸国漫遊を、、、
というのはあくまでTV上の物語のようで、
実際は鎌倉や日光などに行った程度だったそうです。

では実際の徳川光圀は何をした人なのでしょう？

正確な歴史書を作ることに尽力した人でした。
それまで巷では個人が書いたような歴史書が多く、
正しいものと間違っているものが混在していました。
そこで光圀は「大日本史」という
神武天皇から100代目の御小松天皇の時代までの歴史書の編纂を行いました。
その際に徳川家の威光を使い各地の寺社などの
書物を見ることが出来たのではないかとわれています。
大日本史は光圀が亡くなった後も水戸藩で引き継がれ
約250年の歳月をかけ明治時代に入りようやく完成されました。

徳川光圀は諸国漫遊をして勸善懲悪を行ってはいませんが、
政治や文化、歴史などに向き合い、
当時の伝記にも「名君」と評される人物だったようです。

(株)マツウラのGoogleビジネスプロフィールには、
「こよみ」にまつわる「どこかで役にたつ！」
かもしれない雑学記事を掲載しております！
是非ご覧ください！

→<https://www.google.com/search?client=firefox-b->

d&q=%E3%83%9E%E3%83%84%E3%82%A6%E3%83%A9%E3%80%80%E4%BB%99%E5%8F%B0#lpstate=pid:CIHM0ogKEICAgICRhtzydA

過去のメルマガはホームページ

「お知らせ」よりご覧いただけます↓↓↓

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/backnumber.html>

◆このメールマガジンは当社社員が
名刺交換させていただいた皆様に向けて、
最近のマツウラの様子や
今後の印刷・カレンダーなどの
動向などをお伝えすべく、
月2回程度配信させていただく
予定でお送りいたしております。

◇メール配信停止、配信先メールアドレスの
変更をご希望の方、
又は同じ配信が複数届いている方は
大変ご面倒をおかけしますが
下記よりご登録をお願い致します。

配信停止をご希望の方

<https://bit.ly/3KhB1nx>

メールアドレス変更をご希望の方

<https://bit.ly/3dSD6dL>

◇記事内容へのお問い合わせ・その他ご意見は

info@sendai-matsuura.co.jp

宛てにお寄せください。

◇ホームページはこちら

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

発行：株式会社マツウラ

〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町5-7-5

TEL：022-232-4413

FAX：022-232-4468

編集：松浦月子・阿部寛